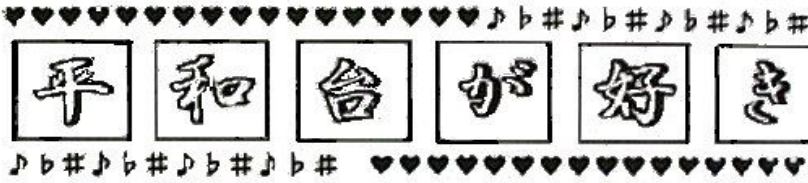


平成20年4月25日発行  
第64号

発行  
印南宏後援会  
発行責任者 印南宏



季節は満開の桜も終わり、新緑がまぶしい一年中で一番過ぎやすい時期を迎えています。平和台の皆様は、いかがが過ぎでしょうか！どうぞ健康に気をつけて、素晴らしい春を満喫していただきたいと思えます。

### 波乱含みの新年度

さて、新年度に入り、世の中は波乱含みの様相を呈してきました。米国発の金融市場の混乱で景気の減速感が強まっています。また、世界的な資源・素材高騰のあおりを受け、私たちの身の周りの食品をはじめ、あらゆる生活物資、サービスが値上げされ、国内消費の低迷が鮮明となってきました。まさに値上げラッシュの春を迎えています。

最大の波乱要因は政治の世界です。与野党の対立で暫定税率の期限が三月末に切れ、ガソリンにかかる税が一リットルあたり約二十五円減少、これも

与党が衆議院で再可決すれば五月には元に戻るなど、ガソリンスタンドはもちろん、私たちの生活にも混乱をもたらしています。関連して、道路特定財源の問題では、道路を良くするために使われるはずの税金が職場旅行やマツサージチェア、タクシー代に化けていました。その他、宙に浮いたままの年金問題。最後の一人、最後の一円まで誰のものか、明らかにすると断言していた前首相。未だ年金記録約二千万件以上が、未解明データとなっています。

### 後期高齢者医療制度スタート

七十五歳以上の約千三百万人が加入して四月一日にスタートした後期高齢者医療制度(長寿医療制度)で、保険料を年金から天引きする「特別徴収」が十五日から始まりました。案の定、同保険制度について我孫子市でも、三日間で約八百人の市民の皆さんから、問い合わせが市役所に殺到しました。二年前の医療制度改革で可決成立した同制度については、導入を決めた当の厚生労働省は、加入者への周知・説明は基本的に自治体がやるべきこととする

とともに、準備を都道府県単位の「広域連合」任せにするなど、他人事のような対応も今回の

混乱を招いた一因だと私は思っています。

### 明日の日本を考える政治家

「今戦えば間違いなく負ける。しかし、塹壕にこもって来年九月を待てば、硫黄島の玉砕だ。」現政権与党からは、そんな声が聞こえる。福田首相の置かれてある厳しい状況をよく表している言葉だと思えます。ねじれ政権下、多くの国民が「ガソリン二十五円より明日の日本」を真剣に考え、行動してくれる政治家を大望している。私自身、そんな感じを強く受けている昨今です。

### 〈我孫子市議会報告〉

### 平成二十年三月定例市議会 新年度予算が決定!

【会期】三月三日(月)～

二十五日(火) 二十三日間  
【一般質問】三月十日～十二日

十八名の議員が登壇・質問。印南宏も「あびこ二十一」会派を代表し、登壇、大綱5点について質問と提言を行いました(次ページに宏の質問ダイジェスト掲載)。

### 【主な議案】

新年度一般会計予算三百十三億一千万円(対前年比マイナソ.五%)をはじめ三十三議案を審査しました。

主な議案として、市職員の勤務時間を改正する条例、つくし野多目的広場の設置及び管理に関する条例、後期高齢者医療制度に関する条例の制定、成田線整備基金や庁舎増築基金の改正条例などがあげられ、全ての議案を可決・閉会しました。

### 【請願・陳情】

栄緑池一帯のマンション建設計画の全面見直しを求める陳情、つくし野五丁目五番地水害対策に関する請願を可決しました。

### 【予算審査】

二十年度予算を審査した予算審査特別委員会では、平成十八年度末、経常収支比率が九十六・三%と他市と比較して著しく硬直化している我孫子市の財政状況を鑑み、歳入の増、税収増への取り組みについて多くの意見が出されました。

また、歳出面では全体予算の三分の一以上を占める民生費(福祉、子育て支援費等)のあり方や工業系土地利用調査の遅れ・基本計画作成業務、地産地消推進事業の農産物直売所整備設計予算など、厳しい予算の中で税金の無駄にならないよう危惧する意見等が多く出されました。

< ♪♪ 印南 宏 と 会派「あびこ21」 代表質問骨子 ♪♪ >



- 1. 首長のリーダーシップと基本姿勢
  - (1) 就任一年の自己評価
  - (2) 最重点施策の目標
  - (3) 第二次基本計画と財政目標
- 2. 環境にやさしい行政
  - (1) 手賀沼沿い公衆浴場施設と手賀沼の生態
  - (2) 一般廃棄物対策基本計画と生ごみの資源化
  - (3) 清掃行政の広域支援体制
  - (4) ごみ焼却施設の精密機能検査結果と今後
- 3. 教育行政 新学習指導要領
  - (1) いじめ対策委員会のその後
  - (2) 特別支援教育
  - (3) 教育ボランティア
  - ・こころの相談員
  - ・メディア・リテラシー対策
- 4. 安全・安心なまちづくり
  - (1) 消防団の充実
  - (2) 救急車の活用ルール
  - (3) 医療体制の一層の充実
- 5. 交通行政 (鉄道関係)
  - (1) (仮称) 成田ニュータウン北駅との乗換え新駅の設置
  - (2) 常磐線の東京駅乗り入れ (東北縦貫線事業動向)
  - (3) 医療体制の一層の充実

平成二十年二月議会  
宏の代表質問Q&Aダイジェスト

**質問** 市長が最重要施策と掲げる商業・工業において、四年後の活性化の目標値をどのように設定していくのか。第二次基本計画(「宏はこう考える」)を参照ください)の数値と変更はないのか。どのようなプランか。

**市長** 第二次基本計画で掲げた目標値としたい。商業では第二次基本計画に掲げる施策を、工業では企業誘致をすすめる施策を考えているが、効果が上がらるまでは一定の時間が必要となる。

**質問** 財政危機の状況下、どのようなプランで財政を立て直していくのか。行財政改革に向けての覚悟の程は如何に。

**市長** 将来にわたる持続可能な財政基盤を確立するために、来年度はゼロベースを基本とした予算編成の見直しや事務事業の見直しを行うとともに、少数精鋭の組織づくりを進めたい。二十一年度からの行政改革第四次実施計画のなかにもこれらを位置づけたい。

**質問** 手賀沼沿い公衆浴場施設について、千葉県や柏市に対して、継続的かつ詳細な温泉水影響調査を求めていく必要があるのではないか。

**環境生活部長** 温泉水など問題を含めた排水により、沼の水質や生態系への影響が懸念されるため、千葉県と柏市へ

水質検査回数増加を含めた定期的な調査の実施をお願いしていきたい。

**質問** 生ごみの資源化について、資源化協力家庭の募集方法や収集する具体的な手法、協力家庭数の見込みなどを含め、今後のスケジュール、詳細はどうか。

**環境生活部長** 協力家庭は四月から六月にかけて広報やHP、自治会回覧等で募集し、十月から生ごみ用資源回収袋で回収し資源化をスタートしたい。二十年度、協力家庭は約千七百世帯を見込んでいる。

**質問** 教育委員会は(※注一)メディア・リテラシーについてどのような対策を講じていくつもりか。今までの調査を含め、今後の施策を確認したい。

**教育長** 少年センター日より「けやき」に携帯有害サイトのフィルタリングの呼びかけを掲載、生徒指導主任研修会でネットによるいじめについて話題の提示、小・中学校に情報セキュリティアドバイザーを招き児童・生徒、保護者の指導を実施。また、夏休みに教職員対象にネット犯罪の危険性や情報モラルの研修を実施する。

**質問** 救急車の適正利用を大至急検討する必要性を強く感じている。どう考えるのか。

**消防長** 市民の理解を得るために引き続き呼びかけを行い、(※注二)緊急搬送

トリアージ制度や通報段階で緊急度を識別して出動する対策について、内容を確認し検討したい。

**質問** 夜間に初期診療を行なう医療機関の充実策と、夜間休日および緊急時の医療体制の一層の充実・整備に向けた広域的対応策はどう行っていくつもりか。

**保健福祉部長** 市内救急五病院や取手協同病院とより一層の連携を図るとともに、二十年度に平和台病院が設置する予定の救急センターの整備を併せて充実させたい。広域的対応策として、東葛北部医療圏整備計画が推進できるよう医師会や関係機関と連携していく。

**質問** (仮称)成田ニュータウン北駅と乗換可能な新駅設置について、千葉県とJRの対応状況、今後の展望は如何に。

**市長** JRは新駅計画は無いとしている。引き続き千葉県および沿線自治体と連携し、実現に向け努力していきたい。

(※注一)メディア・リテラシー：情報メディアを批判的に読み解いて、必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力のこと。「情報を評価・識別する能力」とも言える。「情報を処理する能力」や「情報を発信する能力」をメディア・リテラシーと呼ぶ場合もある。

(※注二)緊急搬送トリアージ制度：平常時における個別の傷病者に対する緊急度、重症度を評価し、消防救急による搬送要件を含め、評価結果に応じた搬送体制を提供すること。





～ 宏はこう考える! ～

## 1. 地域経済活性化で

### ※第一次基本計画について

新年度、市政方針の最重要課題は「地域経済の活性化」と位置づけられていきます。地域経済の活性化では農業、商業、工業を、今後、どう立て直していくのか、根幹的施策が大切となります。しかし一口に「活性化」といっても捉えどころがなく、どのような状態にそれぞれの産業を導くのか、首長はその方向性を明確に打ち出す必要があります。

工業を例にとっても、現在策定中の「工業系土地利用のあり方」は工業の活性化のための手段に過ぎず、工業系の土地利用ができる地域を見つければ工業が活性化するわけではありません。具体的にどのような指標を持って臨むのか、我孫子市の現状把握と進むべき方向性、ここがぼやけていては従前のスローガン型の地域経済活性化と何ら変わりません。新年度から始まる第二次基本計画でしっかりと調整を図っていく必要があります。

最重要施策と掲げる工業・商業・農業において、具体的な数値目標を再設定してまちづくりを明確に進めていかなければ

ならない時期と考えています。

そのためには、実際に仕事をする、職員が目標に向かって全力で執行できる組織が重要です。地域経済活性化に向けての最前線である「商工観光課」は従前の組織のままとなっています。来年度以降、国・県や民間との連携も含め、組織の見直し、強化が必要だと考えます。地域経済活性化のための「市役所組織のあり方」はもちろん、行財政改革の「星野プラン」でも言うべき改革案を大胆に提示し、様々な分野の改革に取り組む必要があると思っています。

現在の我孫子市が置かれている厳しい財政状況を市民の皆さんや市職員、市議会が、それぞれ危機感を共有しながら、新たな街づくりに邁進していきたいと思っています。

※第一次基本計画：我孫子市は平成十四年度を初年度とし、平成三十三年度を目標年次とする基本構想を策定し、まちづくりを行っています。第二次基本計画は、基本構想の第一次基本計画の成果や到達点を踏まえ、平成二十年頃から八年間の第一期のまちづくりの方向性を示す計画です。

将来都市像

「手賀沼のほとり 心輝くまち」  
～ 人・鳥・文化のハーモニー ～

## 2. 手賀沼沿いの公衆浴場について

先日、全国公開されたドキュメンタリー映画「アース」を見ました。環境問題が深刻になってきている現代において、生き物が暮らす楽園「アース」がいかに美し

いか、そして守るべき貴重な存在であるかを認識する良い機会となりました。

「今、私たちができることは、きつとある」という結論で映画は締めくくられ、深い感動を覚えました。

身近に目を転じれば、昨年三月に手賀沼沿いにオープンした民間公衆浴場が、大変な盛況ぶりを見せていますが、排水等で手賀沼の生態系に何らかの影響を与えていないか危惧しています。

我孫子市のシンボルである手賀沼は市民と行政の長年の努力によって、平成十八年度、水質ワーストテンから外れることができました。残念ながら、まだ環境基準（COD 5 mg/L）は未達成ですが、かつての生態系を取り戻すべく鋭意努力が続けられています。

私は、早速に温泉排水影響調査について資料要求を行い、千葉県と柏市が行った「排水水の管理観測」のデータを入手しました。公衆浴場施設には敷地内駐車場地下に浄化槽が設置され、施設東側水路を経て、温泉排水が手賀沼に放流されています。千葉県水質保全課と柏市環境保全課は現状では手賀沼への影響はないと結論を付けています。調査は、県が行った排水温調査、電気伝導調査、柏市が行った水質汚濁法による立ち入り検査があります。千葉県の調査はオープン前と営業中の一度検査したのみです。

千葉県の報告書には「温泉水の影響は排水路内で明瞭に見られたが、沼内流出後は出口でわずかな変化が見られたのみで、温泉排水は速やかに希釈、拡散されていることが示唆された。」とあります。しかし、浄化槽を経由したはずの排水が

排水路内では明瞭に影響があり、わずかとは言い流出口でも変化があるのに、「沼内で希釈、拡散しているのでは問題なし」という結論には、疑問が残る報告と感じます。また、温泉水の塩分の影響はないのでしょうか。

我孫子市は千葉県や柏市に対して、継続的、且つ詳細な調査を求めていく必要があると思っています。私は少なくとも春季の調査だけではなく、手賀沼の水質が最も厳しい夏季の調査も実施すべきであると思います。現在、手賀沼に排水で負荷を与えて続けている大津川、大堀川近隣の松戸市、流山市、鎌ヶ谷市の皆さん、そして沼南町と合併しさらに手賀沼と身近になった柏市は、手賀沼をもっと意識してもらいたいと思っています。

今後手賀沼水質浄化について、我孫子市や関係する自治体の取り組みや現状の課題などを、広域かつ大胆に情報を発信していく必要があります。

## 3. メディア・

### リテラシー問題

子どもたちの間では携帯電話とインターネットが急速に普及し、さまざまな問題が発生しています。大人も被害者となる様々な事件がありますが、子供もたちが巻き込まれている問題で気になるのは「学校裏サイト」や「プロフ」などで起こるいじめ問題等です。

我孫子市教育委員会、少年センターが昨年十一月に行った、市内小中学生約二千人を対象とした携帯電話に関する調査によれば、携帯電話の所持率は小学生



**宏と語る  
小さな小さな  
ティーパーティー  
開催中!**

♪お気軽にお電話ください♪  
後援会事務局 TEL 7184-2860  
自宅 TEL 7189-1598



五・六年生で約二割、中学生では六割を超えています。中学生ではチェーンメールや中傷メール(悪口や傷つける言葉を受け取った子どもは約七割を超えています。情報化社会の中でメディア・リテラシー教育を徹底することが急務になっています。

今年、二月九日に開催された日本PTA全国協議会、東京ブロック大会の中で「ネットが変える社会と心」という講演会・シンポジウムが行われました。その中でインターネット協会の大久保氏がネット上で起こったさまざまな問題事例を紹介しながら、声を大にして、「ネットは、匿名でも誰が発信したのかは特定できる」ということが子供に覚えてほしいといった一つの知識である」と主張されていたことが印象深く残っています。子供はもちろん、親も先生も大人が、この情報リテラシー問題を緊急に勉強し対策を講じていく必要があると思っています。

平和台雑感

今年も布佐南小・布佐中両校の卒業式と入学式に参列した。市内で一昔規模の小さい布佐南小は平成十九年度の卒業生は総勢三十六名。市内では珍しく低学年を含めた全校児童で卒業式は行われる。今年度で定年を迎える栗原校長先生は、自身にとっても最後となる卒業式に感慨深げに、目をほらし臨んでいた。卒業証書授与では一人ひとりの卒業生が将来どんな職業に就きたいのか、夢の一言を大きな声で発表しながら証書をもらっていた。科学者、保育士、Jリーガー、スタイリストなど様々な職業が並んだ。最後まで出なかった職業が「政治家」である。昔は、「末は博士か大臣か」と言われたが、今の子供たちの目にも政治家は魅力的な職業になっていないことを実感した。◆我孫子市役所に四月、新規採用された三十六名の職員が入所してきた。団塊の世代を含む退職者総数は六十五名、その約半数が補填されたことになる。我孫子の街づくりの先兵として大きく育ってほしい。しかし、今の時代、公務員とて安泰ではない。いつ何時職を辞めざるを得ない時が来るかも知れない。社会人とは働いて給料をもらい、自分で食べていける人間になることである。まずは自分の能力を直視し、食欲に仕事を覚えてほしい。そうすることで万一の時がきても、周到に生きていける貯えをしていることにつながる。仕事をするのは自分のためでもあることを忘れないでほしい。

◆四月五日、私の左目に突然異変が起こった。ミミズのような黒々としたものが見え始めたかと思ったら、みるみる茶色に濁り、だんだんと視力が失われていく。

眼科医に駆け込むと「網膜剥離と診断。加齢などが要因で硝子体が萎縮し、それに付着していた網膜が引つ張られて毛細血管が破れ、剥離につながったとのこと。四月七日、約一時間半かけての手術を行った。左目に麻酔注射を行い、眼内に硝子体を切るためのカッターと照明のための光ファイバー等を入れる三つの穴をあけて硝子体内で種々の手術を行う眼内手術となった。網膜の接合を促進するため、最後に眼球内にガスを封入、手術は無事に終了。初めて経験した目の手術、医学の進歩に感謝すると共に、体の大切さ、健康のありがたさを思い知った。思い返せば、急に増えはじめた飛蚊症は網膜剥離の前兆だったのか。健康が取り柄だった私も猛省。人間五十代ともなれば、何が起るかわからない。一つしかない自分の体、大事に付き合っていこうと心に決めた。「人生は時間より、思い出の数。」良き思い出を築いていくためにも自分の健康は自分で守っていかなければならない。◆メタボリック(内臓脂肪)症候群対策の特定検診・特定保健指導が新年度からスタートした。肥満は豊かな社会の共通な悩み。厚労省の言うように、メタボ解消で脳卒中や心筋梗塞といった生活習慣病が減り、年間二兆円の医療費が削減できたなら素晴らしいことである。しかし、疑問点も多い。「メタボ基準(腹囲、血糖、コレステロール、血圧)」に医学界から強い異論も出ている。病人の数を増やし、投薬などで医療費の膨らむ恐れもある。メタボ基準値の策定にかかわった研究者の多くが製薬会社から寄付金を得ていることも判明している。メタボ検診への取り組みは、我孫子市の国民健康保

険の財政にも大きく影響する。受診率が低い国保には、国はペナルティーとして高齢者医療費の分担金を多く負担しなければならぬと通達されている。今後、これらについて慎重に推移を見守ると共に、基準や制度の見直しを求めていきたい。◆この所、毎日嫌な事件や不安の連続だが、気分がスカッとするニュースもあった。私と同年代、日本人宇宙飛行士・土井隆雄さん(五十三歳)が搭乗した米スペースシャトル「エンデバー」が無事に任務を終えて三月二十六日に帰還した。土井さんは国際宇宙ステーション(ISS)に日本初の有人宇宙施設「きぼう」の船内保管室を設置する重責を果たし、二度目の宇宙となる十六日間の任務をすべて無事に完遂した。今後、五月に星出彰彦飛行士(三十九歳、年末には若田光一飛行士(四十四歳)がISSに長期滞在し、「きぼう」を完成させる作業を行う。私たちに宇宙への夢を与え続けてくれている日本人宇宙飛行士の活躍に心より敬意と感謝を申し上げたい。無事に任務が遂行されるよう祈りつつ。

宏

**印南 宏後援会**  
〒270-1198 我孫子市日の出1131  
(日本電気労働組合我孫子支部内)  
Tel 7184-2860

**印南 宏 自宅**  
布佐平和台7-1-18  
Tel 7189-1598  
e-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp  
ブログ http://hiroshi4649.at.webry.info/